

「明治150年の土地政策の変遷から 所有者不明土地問題を考える」

今年2018年は、明治150年に当たります。この150年の間に、我が国は様々な社会経済状況の変化を経験してきました。そしてその時々課題やニーズに対応するべく土地に関わる政策が取られ、その積み重ねが今日の土地をめぐる状況の一端を作り上げています。講演会では、明治150年の土地政策を振り返り、昨今大きな課題として取り上げられている所有者不明土地問題の根源と今後の対応について考えたいと思います。

□講師 **北本政行氏**（国土交通省政策統括官）

□日時 **平成30年6月26日（火）**
14:00～16:00（受付13:30）

□参加費 **無 料**

□会場 **ホテルルポール麹町**
2階「ルビー」
東京都千代田区平河町2-4-3

□定 員 **100名**

（定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。）

有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩3分

有楽町線・半蔵門線「永田町駅」5番出口より徒歩5分

南北線「永田町駅」9a番出口より徒歩5分

□講師プロフィール

1958年生、兵庫県出身。京都大学大学院工学研究科修了、1983年国土庁入庁、2011年国土交通省国土政策局総合計画課長、内閣官房国土強靱化推進室参事官、国土交通省大臣官房審議官（国土政策局）、内閣府総合海洋政策本部事務局次長（併）有人国境離島政策推進室長、2017年より現職。

□参加申込書（申込はFAXで、03-3511-2188） 申込締切 平成30年6月12日（火）

団体名	(ふりがな) お名前	部署名 役 職
電話番号	FAX番号	
区分	該当する□に✓をつけて下さい。 □会員 □国 □地方公共団体 □民間企業 □その他	